

吉海直人氏より寄贈の

往来物の紹介



名誉教授 梅村 佳代

このたび、2009年2月から3月にかけて、同志社女子大学教授・吉海直人氏より、近世の書物である往来物165点ほどが本学に寄贈されました。段ボール箱にして三箱分にもなります。

吉海氏は国文学者で、百人一首のご研究の著書も発刊され、広く近世書物を蒐集してこられました。その蒐集の分野として、百人一首を往來物化した「女子用往来」は、すでに900余点ほども蒐集されています。近世の子どもの文字稽古や、読み本としての単語、地理、歴史、教訓、実業などの往来物も蒐集されていたのを、今回本学に寄贈していただきました。

貴重な近世初期の往来物

寄贈された往来物165点ほどの内容は、各ジャンルに及ぶ貴重な内容です。往来物研究は、教育史研究者の石川謙・石川松太郎の二代にわたるライフワークがあります。それらの分類に基づいて検討すると、多岐にわたる内容であると共に、近世前

幅広く蒐集された近世中後期の往来物

寺子屋(手習塾)の一般的普及は近世中後期とされ、往来物の発刊も多量になっており、その中でも中期の往来物が多く見られます。「仮名付新版商売往来 全」(宝暦六年刊村田次郎兵衛新板)、貝原先生述「女大学」(明和七年九月)、下河邊拾水「庭訓往来」(明和九年正月 京都菱屋治兵衛板)、大坂書肆作成「寺子入木抄」(安永十年三月 吉文字屋市兵衛板)、「女用躰今川」(享保三年十二月)など、享保、宝暦、明和、寛政期頃の女大学、用文章などの消息類や、女子用往来、書札類などが多く蒐集されています。

また、近世後期のものとしては、「女大学教箱」(天保十四年七月)などの女子の教訓類や「御家流平仮名付諸職往来」(弘化三年)、「女今川玉苗文庫」(慶応二年四月)など、よく読まれた往来物が多く含まれています。

明治期の往来物も蒐集されています。岡本賢蔵編次「修身女訓」(明治十五年九月)、「小学女用文章」(明治二十五年二月)などがあります。全体として、女子用往来、散らし書きや用文章などの手紙文や消息類の手本、近世中後期に流布していた著名な往来物などが蒐集されています。

近年は近世の書物研究が活発であり、近世社会のメディアとしての書物、文字学習や読書のための往来物や書物の研究を通して、近世民衆の識字力の検討も深められています。



小学女用文章(明治二十五年二月)と女用文初音錦

修身女訓(明治十五年九月)

女用躰今川(享保三年十二月)

奈良教育大学出版会とブックレット



副学長(研究担当) 佐野 誠

昨春秋に奈良教育大学出版会が設立され、ブックレット二冊が刊行されました。その記念すべき第一号は、本学美術教育講座の元教授・梶田幸恵先生の『手作り絵本の楽しさ』です。それに続く第二号は、本学音楽教育講座の教授・安田寛先生の『日本の唱歌と太平洋の讃美歌』です。前者は、「誰でも簡単に楽しく作ることができる絵本」をキャッチフレーズに、絵本の作り方を懇切丁寧に説明されています。後者は、「唱歌誕生はなぜ奇跡だったのか」を副題に、唱歌と讃美歌の意外な関係を対話形式で解き明かしてくれています。両者ともに平易な文で書かれていて、一気に読み通すことができます。最初の数ページにカラーの口絵があり、文中には数多くの図や写真が挿入されています。これらを眺めるだけでも有益で勉強になります。装丁も美しいので、一度手に取ってみてください。必ずや理性と感性の栄養分となることでしょう。

「大学出版会」というと、堅苦しいイメージを持つ方がおられるかも知れません。難解な学術専門書を公刊している大学出版会が多いのも事実です。しかし本出版会は、学生や一般読者向けのブックレットを公刊することを目的に設立された学内組織です。2007(平成19)年度に、長友恒人先生を委員長とする学術研究推進委員会の学長裁量経費によって、ブックレットの公刊が認められました。当初は、執筆者の選定や出版に当たっての税制上の問題もあつたのですが、事務担当の方々のご尽力もあり、何とか公刊に漕ぎつけることができました。

本ブックレットの重要な使命は、研究と

教育と社会の相互連携を実現し、「開かれた大学」という一般社会の要請に応えることとです。「大学の教員は、専門の研究に相当な時間を費やすばかりで、それを社会に還元していないのではないか?」という批判がここ数年繰り返されてきました。ひと昔前には「象牙の塔」に閉じこもり、社会と断絶している大学」などと陰口をたたかれたこともありました。本ブックレットは、このような批判に応えるべく公刊されたと言っても過言ではありません。高校生にも理解可能な内容を目指していることも、この精神の表れです。

出版会の運営は、「奈良教育大学出版会運営委員会」が中心になって行っています。現在は構成員四名(研究担当副学長・学術研究推進委員会委員・会計課長・学術情報課長)の小さな委員会ですが、いずれは各講座からの意見が直接反映されるような委員会構成ができればと考えておられます。ブックレットを年二冊程度出すことが当面の課題です。予算措置によって、学術研究書の企画も可能でしょう。しかし、それは本出版会が軌道に乗ってからの話です。出版には予算が付きものなので、まずは安定飛行をしていくことが不可欠です。

いずれにしても、自己の教養とスキルを磨くために、読書会や学習会のために、さらには先生方の授業のためにも、本ブックレットを存分にご利用ください。各号の初版は2千部で、定価は1,000円(税込)です。奈良教育大学の生協以外でも、関西圏のいくつかの書店や一部のネットで購入可能です。京都の東山書房に、発行を引き受けていただいています。

出版物のご紹介

奈良教育大学出版会から出版された書籍をご紹介します。

日本の唱歌と太平洋の讃美歌

安田 寛 著

本のテーマは、「ぼくらの音楽はどこから来たの?」です。キーワードは、「キリスト教伝道、太平洋、讃美歌、唱歌」。



手作り絵本の楽しさ

梶田 幸恵 著

「誰でも簡単に楽しく作ることができる絵本」をキャッチフレーズに、絵本の作り方を懇切丁寧に解説。

